

令和8年度 第1回川崎市宮前市民館専門部会会議録（要旨）

日 時	令和8年7月14日（火） 10:00～12:00		
会 場	宮前市民館 第4会議室		
出席者	部会長	川西 和子	調査モデレーター・分析・各種司会
	副部会長	山本 太三雄	菅生分館利用者懇談会
	委 員	渡辺 美代子	宮前区文化協会 会計監査
		白武 初江	宮前第6地区民生委員児童委員協議会 会長
		高久 實	宮前区全町内・自治会連合会 理事
		檜崎 光雄	市民委員
		宮下 大志	宮前区PTA協議会 役員
欠席者		今 弘道	川崎市立西野川小学校 校長
事務局	宮前市民館	新村館長・下間係長・船津課長補佐・石毛主任・今井職員・田中職員	
	菅生分館	佐藤分館長	

生涯学習推進課 米井担当課長 葉山担当係長

会議の成立 委員8名中7名出席のため、成立

会議の公開・傍聴人 なし

次 第

- 1 宮前市民館長あいさつ
委嘱状交付

2 議事

- (1) 川崎市社会教育委員会議 宮前市民館専門部会について
- (2) 正副部会長の互選について
- (3) 新しい宮前市民館・図書館管理運営計画策定に向けて
- (4) 報告事項
 - ア 令和8年度予算及び事業概要について
 - ・宮前市民館・菅生分館の管理運営計画について
 - ・宮前市民館・菅生分館の社会教育振興事業予算及び実施計画について
- (5) 協議事項
 - ア 今年度の調査審議テーマについて
- (6) その他

配布資料

令和 8・9 年度 川崎市社会教育委員会議宮前市民館部会 委員名簿

資料 1 川崎市社会教育委員会議「宮前市民館専門部会」について

資料 2 新しい宮前市民館・図書館管理運営計画策定に向けて

資料 3 令和 6・7 年度 宮前市民館専門部会研究報告書

「繋がりと循環・市民館サポーターの育成」について

～みんなの市民館をめざして～

資料 4 令和 8 年度 補修工事予定一覧

資料 5 令和 8 年度 宮前市民館 社会教育振興事業実施状況

資料 6 令和 8 年度 宮前市民館菅生分館 社会教育振興事業実施状況

資料 7 「教育文化会館・市民館専門部会 研究課題（活動報告書より）」

(参考)

●宮前市民館だより 第 2 6 6 号（4 月 1 日発行）、第 2 6 7 号（6 月 1 日発行）

●菅生分館だより 第 1 9 7 号（4 月 1 日発行）、第 1 9 8 号（5 月 1 日発行）、
第 1 9 9 号（7 月 1 日発行）

●宮前市民館事業チラシ

- 「日本語学級」 識字学習活動
- 「スマホ×ベジタブルで宮前を楽しもう」 シニアの社会参加支援事業
- 「スマホ相談会 4 月・5 月・6 月・7 月・8 月（LINE 講座）」 現代的課題学習事業
- 「うたごえ夢市民館」 市民自主企画事業
- 「子育て期の“私”を大事にする講座」 家庭・地域教育学級
- 「みやまえ子育てフェスタ」 課題別連携事業
- 「子フェスタ 0 歳からのファミリーコンサート」 課題別連携事業
- 「夏休み子どもあそびランド 2026 あそびの達人大募集！」
- 「夏休みこどもあそびランド 2026 サポーター大募集！」及び「夏休みこどもあそび
ランド 2026 あそびランドをもっと楽しむサポーター養成講座」両面
多様な主体が参画する子どもあそびランド事業
- 「大人のための「子どもの本」の読書会」 市民講師事業

●菅生分館事業チラシ

- 「おしゃべりスマホひろば」 現代的課題学習事業
- 「もし今、大地震がおきたら？自分を守るための講座」 現代的課題学習事業
- 「おしゃべりサロンすがお これからの予定」（4 月～6 月） 課題別連携事業
- 「児童室であそぼう Day」 子育て支援啓発事業
- 「児童室であそぼう Day 7 月」 子育て支援啓発事業
- 「スマホボランティア養成講座」 シニアの社会参加支援事業
- 「菅生分館で「マナビ」のタネをみつけよう」 青少年教室事業
- 「グループ交流発表会」 菅生分館利用者懇談会
- 「おもちゃなおします フレンドおもちゃ病院」

●生涯学習情報誌「ステージアップ」 Vol.2 5 7・2 5 8

1 宮前市民館長あいさつ

(委嘱状交付) 川西 高久 檜崎 宮下 白武 渡辺 山本 各委員の順に交付
今氏は欠席のため次回の部会で交付予定

2 議事

- (1) 川崎市社会教育委員会 宮前市民館専門部会について
新村館長が資料1に基づき説明。

檜崎委員

専門部会の目的について方向性がブレない様再度明確に教えてほしい。

新村館長

市民館の円滑な運営を目的に住民の学習要求に対応した活動及び館の運営が豊かになるよう、市民館分館の事業等について調査審議することを目的に設置されている。

- (2) 正副部会長の互選について

推薦により前期に引き続き、部会長は川西委員、副部会長は山本委員に決定

- (3) 新しい宮前市民館・図書館管理運営計画策定に向けて

葉山担当係長が資料2を元に説明

米井担当課長

現在様々な団体から意見を伺っている。その一環として今回専門部会にも意見を伺いたく出席。課内で設計担当(ハード部門)と運営担当(ソフト部門)があり、自分は運営担当だが、本日の専門部会における意見を設計担当にも共有する。

葉山担当係長

新市民館・図書館は指定管理で運営の予定である。

川西部会長

これまでいろいろ経過を聞いているが、説明がなかなか心に響いてこない。

宮下委員

市民意見を聴取するというが、意見を聞きすぎるとデザインがぼやける。他都市の例では、全体の意見を回収した後に、一人の建築家が責任をもってとりまとめ、独自のイメージをつくっている。一本、信念が通っていることが必要である。

また、指定管理というが、マンション住民と利用者の調整やエリアの管理など指定管理者と行政はどういう形で対応するのか？

鷺沼への移転の話が先走っているが、現施設への寂しさ・悲しさは？以上のことは厳しさからではなく、将来への期待を込めて申し上げている。

米井担当課長

行政は建物全体の管理組合に入ることになるため、しっかり連携して対応する。

先行する中原・高津も建物全体の管理組合は行政が出席しており、管理運営計画に反映するかどうかとは別に、同様に、マンション等の関係をどうやっていくべきか考えていく。

高久委員

課題をオープンにするべきである。課題がみえると建設的な意見が言える。広報・PRを市政だより等で行い経過を明確にしておくことが大切。内々で事を進めて、後で市民が知らなかったという事が無いようにしていただきたい。

渡辺委員

今も三味線や日本舞踊の活動で市民館ホールを使用しているが集客に課題があると感じている。

新市民館では大小のホールができるようだが、小規模の演目では使い分けをしたい。ギャラリーでは展示物によっては背景（背面）の配慮もしてほしい。

檜崎委員

大事なのはコンセプト。市民意見を聞きながらも、理念に合わないものは取り入れられないことも必要。デベロッパーと相談しながら細部の検討も必要。例えば、資料2の6ページ下のサイレントルームのイラストにある窓際のソファは再考した方がいい。居眠りのスペースになってしまう可能性がある。

宮下委員

資料2の4ページ下の「空間づくりのポイント」は今も大事な事。市民館の会議室等で勉強ができるような措置なども考えてほしい。

高久委員

資料のイラストを見ていると二子玉川の蔦屋のようなイメージがあるようだが、資料に記載のある4つの目的は移転後の6、7年先の話だけではない。宮下委員の意見同様、現施設においてもその中の一つでも実現に努めてほしい。

宮下委員

市民館が発行している市民館だよりは指定管理の施設ではカラー印刷で、市直営館では2色刷りだが、全館カラー化するのは予算の縛りがあって難しいのか？

米井担当課長

役所の発注においては、法令上の決まりや市の登録業者に依頼しなければならない制約がある。指定管理の施設とは異なり、安価を売りにしている民間の印刷サイトなど、市からネット経由で直接印刷を発注できる仕組みになっていない。

山本副部会長

いっそ教育委員会自体を指定管理に移行するくらいの高い視点に立って発想の転換が必要。世の中が30年間も発展していない一因のようにも感じる。

船津課長補佐

カラー印刷に関連して、宮前市民館だより6月号のデータについて、市民館のホームページに試行的にカラーで掲載をしてみた。予算の都合で8月号からは2色に戻るが、事業のチラシは中原市民館の印刷機を使って順次カラーに切り替えている。また、カラー化で職員のチラシ作成スキルも上がると考える。創意工夫で打開策を考えたい。

川西部会長

新市民館・図書館については、市民意見を8月いっぱいでもとめ、管理運営計画の案にしていくとのことだが、7月にギャラリーで行っていたアンケートの設定は、回答する側のことを配慮できていない内容だったと感じる。

宮下委員

宮前区は昼間人口の割合が低く、働く世代や若い方々の意見が聞き取りにくいと思うが、20－30年後こういった方々の意見が大事になってくる。昼間に在宅している高齢者の意向ばかりを今後数十年続く新たな施設に反映させていくことには疑問を感じる。

高久委員

市民館・図書館には事務室で市民を待っていないでまちへ飛び出していく姿勢がほしい。自分は向丘出張所の近くに住んでおり、鷺沼移転で市民館・図書館は遠くなり、区民23万人の半数も遠くなる。その意味でも、向丘地区の近隣や、現在地の跡施設に出張して事業を行う事はできないか？

新村館長

区のミライづくりプロジェクトにおけるテーマの一つとして、新庁舎への移転後の現施設跡地の活用法をあわせて検討している。

佐藤分館長

菅生分館も向丘地区であり、向丘出張所との連携を図っている。

川西部会長

菅生分館も鷺沼移転後の市民館同様、指定管理になるのか？

檜崎委員

指定管理者は具体的にどのような業者なのか。

米井担当課長

菅生分館も指定管理に移行する。(資料2の8ページ下) 参考までに他館の現在の指定管理者をあげると、

中原市民館：(株) 旺栄、東急スポーツシステム(株) のJV

高津市民館：アクティオ(株)、(株) 東急コミュニティー、
(株) サイオー、(公財) 川崎市生涯学習財団、(株) 図書館
流通センターのJV

多摩市民館：(特非) エンツリー、(株) プレルーディオのJV

麻生市民館：アクティオ、(公財) 川崎市生涯学習財団、(株) 図書館
流通センターのJV

(4) 報告事項

ア 令和8年度予算及び事業概要について

- ・宮前市民館・菅生分館の管理運営計画について

資料5、6により下間係長・佐藤 分館長から説明

- ・宮前市民館・菅生分館の社会教育振興事業予算及び実施計画について

資料 5, 6 により 船津課長補佐・佐藤分館長から説明

質疑は特になし

(5) 協議事項

ア 今年度の調査審議テーマについて

令和 8・9 年度の専門部会の調査審議テーマについて意見を出し合った。

宮下委員

市民館に人を集める難しさを感じる。

檜崎委員

最初に概念を明確化しておかないと、方針がブレる。別途スケジュールを組んでも、テーマについて話し合うべき。

川西部会長

指定管理への移行というのは宮前市民館にとって大きなテーマの一つ。

先行した 4 館の事例を押さえておくべきで、役所側でも情報を集めて欲しい。

白武委員

現在の跡地はどうするのか？若者向けのグラウンドや老人向けの病院などが考えられるのか。

船津課長補佐

指定管理への移行があったとしても、現市民館周辺が生涯学習の空白地帯にならないようにしなくてはいけない。

高久委員

市民意見を集約して跡地利用方法を定めるべき。市長も跡地を手放さず、市有地として維持する考えを表明している。

川西部会長

次回の部会でテーマを決定したい。2 か月以上あるので、各委員それぞれ考えてきていただきたい。任期の 2 年間を有効に務められるようにしたい。

(6) その他

第 2 回専門部会の開催日は、10 月 6 日（火）午前 10 時からとする。

以上